

動物園の30年

すごろくで振り返る

ありがとう、そしてこれからも

動物園は、今年開園30周年を迎えます。緑に囲まれた約4.7ヘクタールの広い園内にはレッサーパンダやオランウータン、「なかよし広場」のモルモットなど56種の動物があり、毎年約25万人もの来園者に親しまれています。今号では、楽しい「すごろく」遊びで、市内の人気スポットである動物園の30年の歩みを紹介します。

動物園30周年記念「すごろく」



スタート 動物園が開園

本市の友好都市である中国四川省楽山市からレッサーパンダが寄贈されたのをきっかけとして、市民待望の動物園が大町地区に開園しました。レッサーパンダの来園に備えました。



▲動物大使としてやって来た真真(オス/写真右)と誠誠(メス/写真左)

遊び方 誰が最初にゴールするか

- さいころを振り、出た目の数だけコマを進める。
- 止まったマスに指示赤字があれば、その指示に従う。

1989年



楽山市からやってきた真真、誠誠に待望の赤ちゃんが誕生。双子の姉妹(鈴鈴・愛愛)はすくすくと成長し、数年後にはどちらも母親になりました。

赤ちゃんが生まれ、飼育員一同ホッとする→1つ進む

1992年



両手を広げて日光浴をする姿がユニーク

1997年



人懐っこくおとなしい性格。抱っこしに来てね

2013年



「来園者もカウソンも楽しめるものを」と、2012年に新設したカワソンのオリジナル遊具。実は細い水路などを動き回るコツメカワソンの特性にヒントを得て、飼育員が考案しました。翌年作った握手コーナーも人気です。

来園者が急増した→3つ進む

2009年



レッサーパンダのイチ丸が誕生。イチ丸は市川市で生まれ育った親同士から誕生した、生粋の市川っ子。ずんぐりむっくり、短い足で懸命にヨチヨチ歩く姿が、とてもかわいく印象的でした。

イチ丸と一緒にヨチヨチ歩く→1回休み

1992年



インドネシアからオランウータンが来園。明るくて元気なスミーと小さくて甘えん坊なイーバン。かわいくて貴重な動物大使でした。

来園早々、イーバンとスミーがケンカをする→1回休み

2014年



動物園生まれのレッサーパンダ市川梨丸。市内を走るコミュニティバス北東部ルート(梨丸号)にもなるなど、みんなの人気者です。

梨丸と一緒にゴールに向けて走る→1つ進む

ふりだしに戻る



ぼーっとしたしぐさが魅力。動かなくても人気者

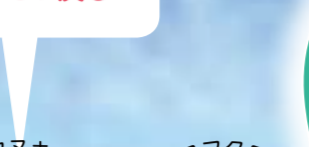
2008年



生後間もなくサル山で置き去りにされたオトメ。ヌイグルミをお母さん代わりに抱き、飼育員に育てられました。リーダー・ゴロンの助け

ゴロンの動きに感動する→1つ進む

5つ戻る



動物園生まれのレッサーパンダ市川梨丸。市内を走るコミュニティバス北東部ルート(梨丸号)にもなるなど、みんなの人気者です。

梨丸と一緒にゴールに向けて走る→1つ進む

来園者インタビュー



生まれも育ちも市川市の私は、子どもの頃、当時珍しかったレッサーパンダが好きで遊びに来ていました。今は結婚し子どもも生まれ、親子で「流しかワソン」のファンです。

来園者インタビュー



近所に住んでいるので、天気の良い時にお弁当を持って気軽に来れるところがいいですね。息子はレッサーパンダのライチが好きなので、ここに来るとまずライチに会いに来ます。ミニ鉄道も欠かせません。

来園者インタビュー



遠足で来て楽しかったのでパパとママに連れてきてもらいました。(なかよし広場の)モルモットが大好きです。

2017年 ゴール 開園30周年

今年は、1年を通じて30周年を記念した楽しいイベントを企画しています。まずは、1月3日(火)から2016年7月に生まれたレッサーパンダの赤ちゃんを一般公開(午後1時~2時のみ)します。会いに来てください。



1月3日頃から一般公開(午後1時~2時のみ)

施設案内 場 大町284番1外
問 ☎338-1960動物園
開園時間 午前9時30分~午後4時30分(入園は午後4時まで)
休 園 日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年始は1月3日(火)から開園
入 園 料 大人430円、小・中学生100円、小学生未満無料
年間パスポート 大人1,240円、小・中学生310円

2003年



オランウータンのウータンが誕生。来園から実に11年目、オランウータンに待望の第1子が誕生。母のスミーは最初、育て方がよく分からず不安な様子でしたが、授乳をきっかけに育児が軌道に乗り、その後大切に育てました。

2016年にウータンが豊橋市に引越。さみしくて→2つ戻る

2009年



針の数はなんと3万本



2つ戻る

1999年



シュバシコウのコウちゃんに初めてのひなが誕生。1987年に綱に激突し、くちばしを折ってしまったコウちゃん(写真右)。動物病院での5年にわたる治療と介護の末、無事にフライングケージに復帰。その7年後には2世も誕生しました。お世話をしてきた獣医は感慨もひとしおです。

今日も元気にみなさんを迎えて→2つ進む

1997年



エリマキキツネザルのベギーに5つ子が誕生。開園当時から仲間、ベギーから生まれた子どもは30頭以上にのぼります。中でも1997年には国内でも珍しい5つ子を出産。みんな立派に育ってくれました。

ベギーがキツネに間違えられる→2つ戻る